



▲ 蚕業学校正面玄関 (昭和4年)

▼ 静岡県立浜松農業高等学校校舎 (昭和26年)



曲目表

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| 1. 静岡県立農業経営高等学校校歌 (昭和25年) | 8. 静岡県立農業経営高等学校校歌
カラオケ |
| 2. 応援歌第1 | 9. 応援歌第1カラオケ |
| 3. 応援歌第2 | 10. 応援歌第2カラオケ |
| 4. 農経寮寮歌 (昭和45年) | 11. 農経寮寮歌カラオケ |
| 5. 蚕業学校校歌 (明治43年) | 12. 蚕業学校校歌カラオケ |
| 6. 静岡県立浜松農蚕学校校歌 (昭和12年) | 13. 静岡県立浜松農蚕学校校歌
カラオケ |
| 7. 逍遥歌 (昭和23年) | 14. 逍遥歌カラオケ |

合唱 東京混声合唱団

静岡県立農業経営高等学校校歌 (昭和25年) 作詞 川路柳虹 作曲 小村三千三

♩=116 明るく

1. な がれは は やき て んりゅうの
あ おき かわ な み のぞみ つつ
い にし え し のぶ ひくま の
み かた が はらー に たつ ぼ ころ
し ぜん を と も し だ い ち の は に ま な び い そ し む わー
れ ら た の し

- | | |
|---|---|
| 1. 流れは速き天竜の 青き川波望みつ
いにしえ偲ぶ曳馬野の 三方原に建つ母校
自然を友とし大地の母に
学びいそしむ吾ら楽し | 3. 遠州灘の轟きに 燃ゆる血汐の若人が
進取の意気も高らかに 耕す土の尊さよ
自然を友とし大地の母に
学びいそしむ吾ら楽し |
| 2. 赤石山のやまなみは 遠きみ空の淡みどり
蚕の眠り安らかに 茶園に仰ぐ富士が嶺
自然を友とし大地の母に
学びいそしむ吾ら楽し | 4. 夕映る浜名湖に 浄きあしたを想うとき
吾らが誇る蚕業に 輝く天地拓くべし
自然を友とし大地の母に
学びいそしむ吾ら楽し |

応援歌第1

♩=100

1. みかたがはらにー つちかひし
しょうりゅうついにー くもをえて
いまぞー われらは こうとげり
いざわがともよ てをとりにて
ともにあげなん ちちどきを

1. 三方原に培ひし
昇竜遂に雲を得て
今ぞ我等は功とげり
いざ我が友よ手をとりにて
共に挙げなん勝どきを
2. 日頃の鍊磨火と燃えて
陸に水にと名を挙げし
勝利は永久に輝けり
いざ我が友よ手をとりにて
共に挙げなん勝どきを
3. 嗚呼感激の此日こそ
若き生命の雄叫びぞ
共に進まん栄の道
いざ我が友よ手をとりにて
共に挙げなん勝どきを

応援歌第2

1. はちめんれいろう ふじがみね
いちほうさいなしたいへいよう
てんりゅうはせてー やのごとし
はまなこたたえて かがみなす

1. 八面玲ろう富士が峰
一望際なし太平洋
天竜はせて矢の如し
浜名湖たたえて鏡なす
2. 山水自然の景勝に
鍛え鍛えし健男兒
ふるえ鉄腕響あり
とべや健脚勇ましく
3. いざやくらべん我が技倆
勝てよ負けるな各選手
最後の勝利を占有し
ちちどきあげんもろともに

農経寮寮歌 (昭和45年) 作詞 関誠一郎 作曲 川口尋之

- | | | |
|---|--|---|
| 1. 昇る朝日のあの空は
望む理想の黄色
燃ゆる心を触れおうて
学びの誓貢かん
励めわれらの農経寮 | 2. 荊の続くこの原野は
拓く平和の理想郷
若き力を手に組んで
文化の楽土築かなん
伸びよわれらの農経寮 | 3. 黒潮響くその海は
めざす綱領の展くところ
正しき航路を漕ぎ抜きて
先駆の願望果さなん
進めわれらの農経寮 |
|---|--|---|

蚕業学校校歌 (明治43年) 作詞・作曲 砂徹照

- | | | |
|---|---|--|
| 1. 英姿堂々東海の
大空高くそそり立つ
わが神洲の芙蓉峰
銀雪玲瓏光りあり | 4. あ、縣蠶の健男兒
劔にかへて鋏とりて
玉なす汗を濃ぎつ、
いざや耕せ桑園を | 7. 鶯は高く立ち並ぶ
三方原の我が校舎
立てや吾が友吾が校の
榮ある歴史飾るべく |
| 2. 打ち寄せ来る千萬里
遠州灘の濤浪は
或は高く又低く
百雷落ちて叫びあり | 5. 若き緑の葉をつみて
夜晝倦まず飼蠶せば
燦たる玉を漣ね足る
蠶の繭はうづたかし | 8. 花爛漫の春の日も
凍雲飛び来る冬の夜も
書よむ業に耽りつ、
新文明の香を奪へ |
| 3. この雄壯の聲を聞き
かの秀麗の精を受け
われ奮闘の意氣揚り
われ剛健の質なりぬ | 6. 絡にくりとる白銀の
一縷の絲は細けれど
これぞ皇國の富源を
支へてつなぐ力ぞや | 9. 剛健の盾手にもちて
奮闘の矛ふり翳し
時と人との利を啓け
蠶業界の覇者となれ |

静岡県立浜松農蚕学校校歌 (昭和12年) 作詞 宇波耕策 作曲 若狭万次郎

- | | | |
|--|---|---|
| 1. 三方野に武名をあげし
ますらをのををしき氣魄
天翔るみいくさびとの
盡中のまことをしのび
ころごす農蠶報国 | 2. 常若のわが日の本の
ちからなりわかうどわれら
勤勞のひたひの汗に
つちかふや剛健の徳
自覺せよたふとき使命ぞ | 3. 親しめる中にも存す
うるはしき禮節信義
きはめゆくまなびのはやし
をさめゆく日新のわざ
光輝あり濱松農蠶 |
|--|---|---|

逍 遥 歌 (昭和23年) 作詞 西尾芳規

- | | | | | |
|--|--|---|--|--|
| 1. 春爛漫の緑ヶ丘に
花の香高く紅燃えて
歴史は古くそそり建つ
我等が県立農経高
ああ青春の血は燃えて | 2. 激流逆巻く天竜か
又鏡なす浜名湖か
赤石の峰背に受けて
育ちし我等健男兒
ああ青春の血は燃えて | 3. 怒濤は遠く太平洋
仰ぐは氣高き富士ヶ峰
秋風月下に夢語る
若き腕の意気高し
ああ青春の血は燃えて | 4. 烈風うなる三方原の
夕のいらか陽に染まり
熱涙の歌にむせびつつ
久遠の理想輝けり
ああ青春の血は燃えて | 5. やがて輝くあけぼのに
新生の歌吟ずれば
大樹の影に鳥の鳴き
空には高し白き雲
ああ青春の血は燃えて |
|--|--|---|--|--|

学校沿革

- | | |
|--------------|---|
| 明治30年 7月7日 | 浜名郡会において本校創立の件議決 |
| 同 11月15日 | 文部大臣より設立および校則認可、静岡県浜名郡蚕業学校と称する |
| 同 12月6日 | 本科第1学年生41名入学許可、同日開校式挙行 |
| 大正8年 4月 | 県立に移管し、静岡県立蚕業学校と改称 |
| 昭和9年 9月 | 静岡県立浜松農蚕学校と改称 |
| 同 23年 4月 | 静岡県立浜松農業高等学校と改称 |
| 同 32年 4月 | 静岡県立浜松農工高等学校と改称し、工業課程機械科を併置 |
| 同 39年 4月1日 | 静岡県立農業経営高等学校設置 (浜松市都田町8725) 農業経営科 (定員120名) |
| 同 40年 3月19日 | 文部省より自営者養成農業高等学校に指定を受ける |
| 同 41年 4月1日 | 生活科設置 (定員10名) |
| 同 43年 2月15日 | 校舎落成。創立70周年記念式典挙行 |
| 同 8月 | 全国自営者養成農業高等学校研究協議会 (第4回) 開催 |
| 同 11月20日 | 文部省指定研究発表会開催 |
| 同 52年 11月5日 | 創立80周年記念式典挙行 |
| 同 59年 | PTA活動文部大臣賞受賞 |
| 同 63年 11月12日 | 創立90周年・農場施設竣工記念式典挙行 |
| 平成2年 4月1日 | 生物生産科 (定員80名)、生産流通科 (定員80名) 設置 (農業経営科、生活科の募集停止) |
| 同 8月1日 | 全国自営者養成農業高等学校研究協議会 (第26回) 開催 |
| 同 4年 5月19日 | 文部省より「社会の変化に対応した新しい学校運営等に関する調査研究協力校」として指定 |
| 同 9年 11月7日 | 創立100周年記念式典挙行 |